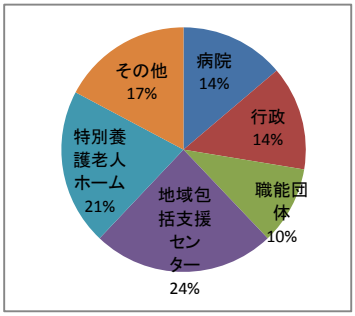
平成24年度「在宅医療連携拠点事業」に係る意見交換会アンケート

平成25年3月11日（月）19:00～20:45　医師会館3階講堂
参加者40名（うち事務局スタッフ6名）アンケート対象者　34名　回答者　30名　回収率　88.23%（3/13現在）

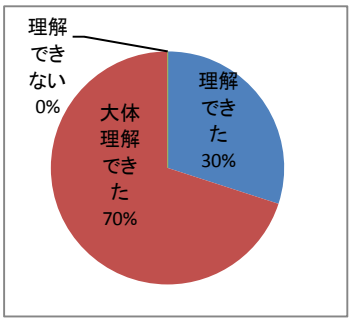
【所属】

病院	4
行政	4
職能団体	3
地域包括支援センター	7
特別養護老人ホーム	6
その他	5
合計	29



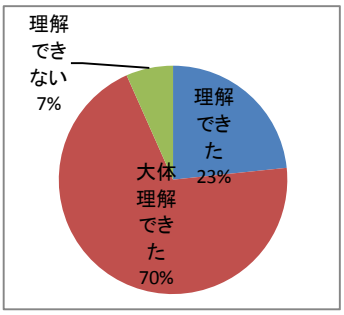
1、地域包括ケアシステムについて理解できましたか。

理解できた	9
大体理解できた	21
理解できない	0
合計	30



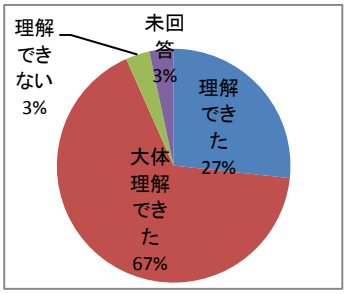
2、地域包括ケアシステムを構築するために、各組織や職種の業務、役割について理解できましたか。

理解できた	7
大体理解できた	21
理解できない	2
合計	30



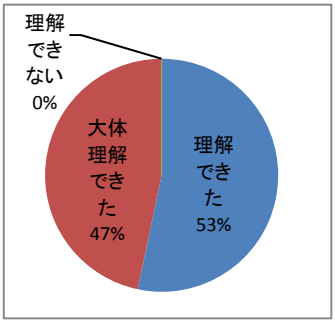
3、地域ケア会議の目的、機能について理解できましたか。

理解できた	8
大体理解できた	20
理解できない	1
未回答	1
合計	30



4、ほたるの活動報告を聞いて、業務、役割について理解できましたか。

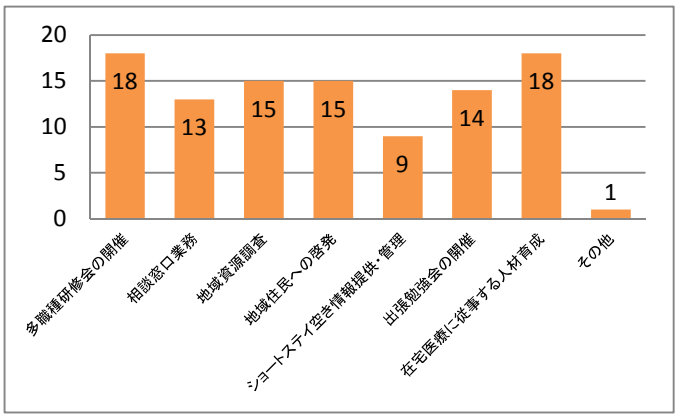
理解できた	16
大体理解できた	14
理解できない	0
合計	30



5、ほたるに期待することは何ですか。（複数回答可）

多職種研修会の開催	18
相談窓口業務	13
地域資源調査	15
地域住民への啓発	15
ショートステイ空き情報提供・管理	9
出張勉強会の開催	14
在宅医療に従事する人材育成	18
その他	1

その他…医療系サービスの苦情の窓口など



6、その他（ご意見、ご感想やお気付きの点などありましたらご自由にご記入ください）

- 大変勉強になりました。ほたるさんの活動の活発さや機動力に感銘を受けました。
- 市としても地域全体としても、在宅、施設においても医療対応が可能な介護職が増えていかないと在宅を支えることが困難。育成機関が必要。
- 地域ケア会議、ケアシステムの重要性も理解することができ、有意義な場でした。
- 在宅での医療度の高い利用者へ対する技術を担う役割を、看護師から介護員へ可能にしてほしい。技術伝達講習会をするなど。
- 地域包括ケアシステムを切り口に何か勉強会でもやっていただければありがたいですね。
- ほたる主催の研修会の案内が私ども事業所まで届かないことがある。ホームページをみれば分かるのですが、こまめに確認できていないので。
- 出張勉強会、すばらしいと思いました。知らない事業所も多いかと思います。今後もPRお願いします。
- 地域包括ケアシステム平成27年度に向けて今から出来ることを取り組んで行こうと思った。土田先生がおっしゃられた通り、包括支援センターいえども提供事業所の一面も背負っており、和光市の通りできるか自分でも疑問であった。
- 医師、居宅、事業者、病院等に対して、地域ケア会議・地域包括ケアシステム等をきちんと理解してもらえる様な勉強会をきっちり行ってほしい。ここまでの会議を開催したのだから、やりっぱなしでは前に進まないと思います。様々な研修会がありすぎます。せめて医療連携の分野はほたるが一本化して事務局をしてはどうでしょうか。いったいどこが主催なのか分からない研修が多いという意見がケアマネさん達から寄せられていますので…。
- 大変良い勉強になりました。